

# 明治学院大学ボランティアセンター 2016年度のあゆみ



## 特集1

### 明治学院大学 教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム

「大学の授業」と「ボランティア実践」をつなぎ、他者を理解する力、問題発見・解決力、コミュニケーション力などを育むプログラムが2016年度からスタートしました。

(⇒詳しくはP5)

## 特集2

### 平成28年熊本地震復興支援活動

ボランティアセンターで活動する学生だけでなく、サークルや体育会の学生たちから声があり、学内外での募金活動に取り組みました。

教職員の熊本訪問（5月、6月）、学生・教職員の熊本訪問（9月）は、熊本学園大学のボランティアセンター立ち上げ支援、障がいのある方々が製造するクッキーの本学での販売などさまざまな支援活動につながりました。

(⇒詳しくはP11)



### 特集3

### 海外スタディツアー



2013年からこれまで5回にわたり開催されている海外スタディツアー。

2016年度は海外プログラム事業部の学生メンバーが企画から携わり、タイ王国へのスタディツアーを実施。2か月前から事前学習を積み重ね、学習テーマである「ジェンダー平等の実現」「持続可能な都市/地域の実現」について現地で学びました。また、本学協定校であるタマサート大学を訪問、ディスカッションなどで交流し、帰国後には学びの成果を振り返り会で報告、写真パネル展も開催しました。

(⇒詳しくは P17)



### 1 Day for Others

明学生なら「誰でも」「いくつでも」参加できる1日社会貢献プログラム。キャンパスを飛び出し、地域コミュニティやNPO・NGO、企業などでボランティアやインターンを体験。社会へ一歩踏み出すことで、自ら行動し、自ら学ぶきっかけになっています。

(⇒詳しくは P28)





## 「Do for Smile @東日本」プロジェクト

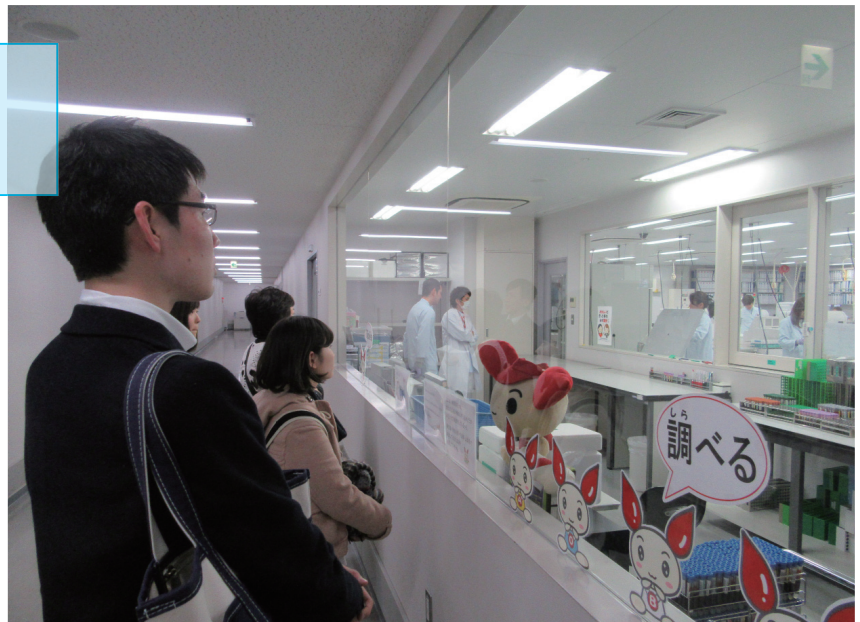
東日本大震災発生直後に立ち上げた復興支援活動。

岩手県大槌町とは「復興支援活動を通じた協働連携協定」を締結、子どもの遊び場作りや学習支援、「吉里吉里カルタ」を通じた地域文化の継承活動を続けています。岩手県陸前高田市では、震災の風化防止、防災意識の啓発、地域の魅力発信をテーマに、新たな企画が始まろうとしています。（⇒詳しくは P32）

## 明学レッドクロス

2013年の結成から4年を迎え、赤十字ユース委員会としての活動や『RCV』編集など、赤十字のネットワークを生かした活動に取り組みながら、学内移動献血会での呼びかけ、熊本地震の募金活動など明学レッドクロス独自の活動にも力を入れました。救急法の講習受講や血液センター見学など自ら学ぶことも大切にしています。

（⇒詳しくは P48）



## 地域活動

白金・横浜両キャンパスの近隣地域で活動。地域の活性化を目指し、お祭りや運動会でのお手伝い、子育て支援施設での活動などに取り組んでいます。

2015年度から継続して関わってきた「原宿ふれあいフリーマーケット」や「とつか宿場まつり」では1 Day for Othersのプログラムに組み込むことで、一般学生も巻き込み、イベントを盛り上げました。

（⇒詳しくは P55）

## 海外プログラム事業部

「Think globally, step forward ～世界を変える企画を作ろう～」をキャッチコピーに、国際的な問題を考え、自分たちでゼロから企画を作っています。

世界で差別され自由な生活ができない女性たちへの支援プロジェクト「国際ガールズ・デー」企画では書き損じはがきを回収し、換金することで45万円以上を寄付することができました。（⇒詳しくは P65）



## MG パール

ボルネオ島の森林保全・動物保護活動を目的とし、現地産の淡水パールでアクセサリーを手作り、生協やイベント等で販売し、売上金の寄付をおこなっています。また、熱帯雨林保護に取り組む国際機関やNPO等を訪問し、学んだことを販売時に説明することで、啓蒙活動にも熱心に取り組みました。

（⇒詳しくは P71）

## SHIP

社会とつながったり、何かにチャレンジしたりする明学生を増やすことを目的として活動。

いろいろな分野で活躍する在学生を紹介したり、社会の第一線で活躍するゲストを招いたイベントを企画・開催しています。

（⇒詳しくは P73）

